

広報 なつどまり

しらかば寮 須藤 隆子

<発行元>
社会福祉法人
青森県すこやか福祉事業団
障害者総合福祉センター
「なつどまり」
青森県東津軽郡平内町
大字小豆沢字茂浦沢38番地
TEL 017-755-4001
FAX 017-755-4919
http://www.natudomari.jp/



しらかば寮 クリスマス会

しらかば寮では、12月23日に「クリスマス会」を行いました。生活支援第一課では、食堂をクリスマス仕様にし、利用者がクリスマス気分を味わえるように飾りつけをしました。

当日のクリスマス会では、クリスマスプレゼントを準備し、利用者に配りました。その後、サンタクロースが登場し、お菓子を皆さんに配りました。サンタクロースが登場すると、「わあー」と言って喜ぶ利用者もいました。また、クリスマスケーキも提供し、おいしそうに食べる様子が見られました。

最後にカラオケ大会を行い、歌いたい利用者が集まって順番に歌い、にぎやかなクリスマス会となりました。

しらかば寮 支援員 伊瀬谷 優樹

さつき寮 クリスマス会

さつき寮では、12月23日に「クリスマス会」を開催いたしました。感染症の影響で、例年通りに開催出来ないかもしれないという状況でしたが、無事に開催出来た事が本当に良かったと感じております。当日は、お昼に食堂へ集合し、厨房からのチキンライスや、特注の仕出し弁当、特製クリスマスケーキ等、いつもより豪華な食事を皆さん笑顔で召し上がっていました。食後は、寮長・課長が扮するサンタクロースが登場し、一人ひとりにプレゼントを手渡されました。皆さん中身を見て、嬉しそうな表情を浮かべていました。

職員一同、利用者の明るい表情を見られた事が、何よりの喜びでありました。皆で食事が出来る事や、皆で行事を祝える事がどれだけ幸せな事を改めて実感したクリスマス会となりました。

さつき寮 支援員 道川 美味

調理実習

さつき寮も実施しています!



しらかば寮 調理実習

しらかば寮 支援員 長谷川 翔也

しらかば寮では、一か月に一度のペースで調理体験を行っています。調理で作るメニューは、利用者の意向を聴き取り、普段の生活ではなかなか食べる機会がないメニューを中心に考えています。

調理を行う際は、利用者が個々にできる工程を手伝ってもらい、混ぜる、焼く、盛り付ける等の体験をし、支援が必要な部分は職員と一緒に進めています。

今年度は、パフェ、ハンバーガー、牛丼、クリームソーダ、ホットドッグ、ホットケーキ等を作り、様々な調理を体験しました。自分達で作った料理は、絶品で笑顔が溢れていました。

調理体験を通して、利用者同士、職員と利用者がより良い関係を築いて、楽しさと潤いのある生活を目指していきます。

苦情解決

第三四半期(10月~12月)は、当施設内において、新型コロナウイルス陽性者(職員・利用者)が出たため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、第三者委員との苦情相談を中止いたしました。

今後も感染状況を見ながら苦情相談を行ってまいります。

行事予定

3月3日 桃の節句(しらかば寮)

3月9日 慰労会(さつき寮)

3月16日 ティータイム(さつき寮)

3月20日 しらかば寮利用者説明会

その他、利用者さんが楽しめるミニ行事を企画し、実施していきます。

※面会については、「オンライン面会」に加え、「ガラス越し面会」を実施中です。

※行事予定は、感染症の流行状況によって変更、中止する場合があります。

しらかば寮 成人式

支援員 櫻庭 広司

1月10日、「成人式」を開催しました。18歳、19歳の方を対象とし、今年は男性2名の利用者がスーツ姿で式に参加し、今所長より記念品の贈呈と記念撮影が行われました。普段見られない緊張した姿がとても印象的でした。

成人式

※写真等の掲載については、本人またはご家族から承諾を得ています。

さつき寮

「新年会」

さつき寮 支援員 渡辺 浩平



1月7日、「新年会」を開催しました。美味しいデザートとジュース、みかんを飲食し、楽しいお正月気分を味わうことができました。バニラ・キャラメル・ストロベリーアイスに、あんこやチョコソースをトッピングして、それぞれ思い思いに味を堪能し、新年をお祝いしました。「バニラとキャラメルが混ざって美味しいな」「みかんもおいしかったよ」と、みなさんから好評の声が聞かれました。

新型コロナウイルス対策により、我慢の多い日々が続いている中、心温まる新年会となりました。今後も、行事等でみなさんの笑顔が増える機会をどんどん提供していきたいと思えます。



しらかば寮

「新年会」

しらかば寮 支援員 内藤 友子



年が明けて1月6日、しらかば寮では毎年恒例の「新年会」を開催しました。

私が担当している二課では、新年のお祝いと利用者の健康を祈願し、獅子舞が利用者一人ひとりを囃んでいきました。獅子舞が登場すると、笑顔で囃まれている方、静かに受け入れている方など反応は十人十色でしたが、きっとこれが邪気払いとなり、利用者が元気に過ごせる一年となることと思います。

その後は、職員の一ハモニカ演奏で「一月一日」「雪」など正月や冬にちなんだ曲と「富士山」などの縁起の良い歌を歌いました。

ハモニカ演奏に合わせて身体や顔を動かした後は、和菓子とお汁粉や甘酒に舌鼓を打ちながら、ホッと一息。そんな様子を拝見しながら、利用者ごとうして穏やかに過ごすことができる年になるよう、支援していきたいと感じました。



「節分」

さつき寮 支援員 小塚 加寿子



2月4日、さつき寮で「節分集会」を行いました。今年の恵方「南南東」を紹介し、鬼の顔をかたどったケーキを利用者全員で食べました。ケーキを見た利用者から「鬼の顔だ！」と喜びの声が上がりました。

今年の年男・年女の利用者は、福笑いに挑戦しました。ホワイトボードの前で悩みながらも、皆さん果敢に挑戦し、個性豊かな「おかめ」と「ひよっこ」が完成しました。見守っている利用者も「頑張れ」と応援したり、「もつと右だよ」と教えてあげたり、大いに盛り上がりました。出来あがった面白い顔に皆さん大笑いし、楽しいひと時を過ごしました。



「節分」

しらかば寮 支援員 二本柳 理慧



しらかば寮では、2月2日に「節分会」を開催しました。一課では、例年2〜3人の鬼役を今年は6人に増やし、豆まきにもストーリー性を持たせ、盛大に行いました。鬼に扮した職員は、フェイスペイントでメイクを施し迫力が増しており、利用者の方々に大いに驚かせました。精一杯にカラーボールを投げ、鬼退治する姿はとても生き生きとしており、楽しそうな様子が伝わってきました。鬼が退散した後で神様に扮した職員が登場し、拜んだり握手をしたりと、思い思いに交流していました。

無事に鬼退治した後は、巻き寿司やお菓子、ジュースを飲食しました。お腹を満たした後は、改心した鬼達と仲良く記念撮影を行いました。鬼を退治して満面の笑みを浮かべる方もいれば、鬼に囲まれ緊張した面持ちの方もおり、利用者の様々な表情が見られ、賑やかな催しとなりました。

